

令和6年度自主防災会・消防団連携訓練

—初期消火を目的とした、可搬ポンプ及び消火栓取扱訓練—

令和6年1月の能登半島地震において、電気配線のショート等による電気火災が発生し、石川県輪島市では、およそ5万平方メートルが消失する大規模な火災となりました。被害を最小限に留めるためにも、初期消火が重要とされており、長泉町自主防災会では、自主防災組織に属して日が浅い方を中心に、可搬ポンプ等の取扱い訓練を行い、安全且つ的確な操作方法を習得し、災害に備えるための訓練を実施しました。

と き／5月12日(日) 9:00~11:30

ところ／長泉町小学校・南小学校・北小学校 グラウンド等

内 容／

(1) 可搬ポンプ訓練(実働)

可搬ポンプの放水訓練。実際に可搬ポンプを使用して、防火水槽の開閉、可搬ポンプの始動から放水までの一連の操作訓練を実施する。

(2) 資機材取扱訓練

可搬ポンプの操作にあたり、ホースの延長や結合、筒先操作、また、それぞれの安全確認方法等の訓練を実施する。併せて、延長後のホース収納(巻き方)方法を習得する。

(3) 可搬ポンプ訓練(操作訓練)

可搬ポンプの操作にあたり、可搬ポンプ周りの操作訓練、また、それぞれの安全確認方法等の訓練を実施する。

主 催／長泉町自主防災会連合会

対象・参加者数／

- ・各自主防災会(北部地区:12区、中部地区:16区、南部:13区)各5名程度
- ・長泉町消防団(北部地区:第1,4分団、中部地区:第2分団、南部地区:第3分団)
- ・地域防災対策委員

今後も、互いの地域で顔が見える距離で、消防団の持つ技術と自主防災会の持つ近隣相互の連携力を融合して、各区の防災力強化を図ります。

ちょうどいいが
いちばんいい
Nagaigumi